

農協合併特集号



発行所 大熊町公民館 電話 大野(65)番  
発行 西名清 編集責任者 吉田農夫 印刷所 浪印 電話 58番

発足した大熊町農協 本来の使命達成に 全力傾注

新役員の撻撻

大熊町農協の組合員の皆様!! 御蔭様で四月一日より大熊町農協が開店発足をしました。

これ以一町村一農協の適正規模となりましたので今後の活潑な活動を御期待の上御安心して益々御利用を願います。

何卒宜敷く御願いたします。農協は組合員の経済生活を守り更に向上発展を期するものです。国、県、町の施策援助もすべて農協を通じて行われ農業近代化資金も又三ヶ年一億円の農業構造改善事業も農協活動の中軸として推進され農協の受け入れ体制の出来たところより指定を受けることになつていきます。

くらしの計画は農協から、そして貯金は金利の高い農協へ、生産物はすべて農協へ、豊かなくらしの感謝は農協へをモットーとして組合員の組合の全利用組合員のフルサービスの実現を期して役員就任の御挨拶いたします。

大熊町農業協同組合

組合長理事 石田真宗 常務理事 西村正 理事 榎久保茂、吉田良治、関本好男、渡部綱治、新妻常英、泉覚、志賀昇、山田幸太郎、佐藤正寿、沢内一男、加井春清、尾内貞義、代表監事 斎藤正、吉田公直、石田敬、吉岡賢司、西名清、佐々木省衛、

出資金八五五万の 適正規模

キップに 石田真宗氏 常任理事に 西村正氏 就任

町議会二〇万の育成費可決

町民の与望が実つて、等合併であり熊町地区にかねてからの念願であつた大野熊町農協の合併が成立して去る四月一日が大熊町農業組合として開店発足した。組合長には過去五ヶ年旧大野農協の再建に努力した石田真宗氏が就任し、常務理事には合併のイニシヤチープをつたひ熊町農協の組合長西村正氏が就任した。合併は対

組合執行体制編成表

Table showing the organizational structure of the cooperative with positions like Chairman, Executive Director, and various department heads.

業務活動の 強化

業務活動の強化を期すること。このは祝福にたいない。町議会は三月議会の昭和三十七年度当初予算で約一〇〇万の育成費を可決し本町町の最重要として農村である本町の振興発展を期することとした。

営農指導面の強化

このたび農協畜産指導員として、菅野祐一氏が着任して、営農指導面の一大強化を見ることとなった。氏は浪江町大堀の出身で長く福島一帯地区で畜産指導関係に携わつた経験者であり、特に牛の人工授精に対する威威でもあり、

農家経済の安定を

菅野指導員就任の 陽春の候を迎えまして 町民の皆々様には、益々御清栄の御事と、お喜び申し上げます。私事、このたび大熊町に畜産指導員として迎えられました。今や農家経済も曲り角に到来している今日、町民各位の御協力を得て、この過度期を打開すべく未熟ながら努力いたしたいと思ひます。



# 37年度大熊農協 事業方針の重点及改善事業

事業	項目	実施方針	重点事項	改善事項
営農指導事業	畜産の振興		共同育雛の推進 乳牛 和牛 豚の多頭飼育推進 飼育管理指導 農家経営の実態把握と健全経営の樹立指導	畜産指導員設置 優秀仔牛導入 二輪車1台の増車 下部組織の協力により作成
	くらしの計画化			
信用事業	貸付	近代資金の貸付 短期資金の貸付	農業近代化資金を低利期で融資する 合理的金利体制を確立し組合員の金利負担を軽減する	転貸資金を出来るだけ削減し組合自己資金による融資に切替える
	貯金	安定資金の確保	別段貯金の実施 定期貯金の吸収 計画貯金推進	学童貯金 婦人部貯金 納税貯金吸収 町の予裕金の吸収
販売事業		米 麦の全利用 馬鈴しよの共販 畜産物の全面取扱	農業倉庫拡充 品種の統一 鶏卵 牛 豚の販売推進	石造一棟増設 特殊組合との連携
購買事業		生産資材の全利用化 生活資材取扱拡充 店舗購買の拡充強化	予約購買制を推進し 肥料 飼料 農薬 農機具の全利用を図る 現金購買の推進	運送力の合理的運営による配給の能率化を図る 店舗造成
共済事業		建更 生命共済の保全並に拡大 子供共済の推進	推進運動期間を設ける	一戸平均20万円目標とする
加工利用事業		精米 麦 製粉 製麺 製パン	学校給食用パン製造	適正利用率の検討 旧施設修理利用

## 農業基本法と 今後の営農

大熊農協指導課

菅野 祐一

基本法の必要性  
 今後の農業を定めるも  
 のとして、農業基本法が  
 昨年六月に国会を通過し  
 はやくも十ヶ月を経過し

遊説すると言ふ熱の入れ方は、農基法に対する関心がどれだけ高かつたかと言ふ事が痛感される。農業基本法がこの様に農業関係者は勿論のこと、国民全体の注目のまとなり、政治問題にまでなつた事は、これからの日本農業の方向をきめる基本的な法律だからである。二三年來農業は曲り角に來たと云われ、この日を境として、農業の転換期に際し、今までの様な道を進んだら新しい発展が期しうるかなの爲には、從來のようにならざるを得ない。農業基本法の本質は、農業の生産性をたかめ、農民の生活水準を他産業従事者と均衡する程度にまで向上させると云つて居り、そのために、農業構造を改善して他産業従事者と所得の均衡と農民の生活向上等を計ると云う。非常に喜ばしい事であるが、果してこの法律が曲り角に來た日本農業をあきらかにし、国民人口の四割あまりをしめる農民の生活を豊かにする事が出来るだらうか？

我々は先づ、この法案が保守政府みずからの手によつて、積極的に、促進された事に注目せざるを得ないと思ふ。

独占資本の急速な成長はとくに昭和二十八年以降農村をいぢりぢりしく變はうに迫り、農民の脱農化は顕著であつて、池田首相をして十年後の日本農業は、その就業人口の六割減少、農業経営は二、五ヘクタールから五ヘクタールの自立経営農家が支配的となると述べているが、はたしてこれが可能であらうか？

独占資本の労働市場対策はいまや露骨に、農民の上に、覆いかぶさつたか様の思われる。

したがつてまた、家族農業経営の近代化をはかり自主経営を育成し、協同組織による協業経営を促進するなど、我々には脱農政策のように思われま

しかしながら農業から他産業に転職する者の雇傭条件が、きわめて不利な事情にある事は、事実の様思われます。

他方農業基本法案が生活水準の均衡を目的として農業生産の選択的拡大をはかる事であり、この政

策のねらいは独占資本の必要とする農産物(畜産物果物等)を安く手に入れるための一つの手段でもあるかのように感じられます。

よつて農業生産物の拡大をはかり、さらに農産物の買ひたゞと、作付転換を合法化して農民の選択を余儀なくさせるのである。

貿易自由化の中で独占資本の買ひたゞに負けた者は、他産業への転業を望んでいないといつても過言ではないでしょう。

生きのこる農民だけが農業を営んで行くべきだと云うのが今度の農業基本法の立場であるかのように思ふ。

我々は、あくまで横の関係を密にし、組織の力によつて、今後の農業の進路を選択しなければならぬ。

川柳 楽園

「油」  
 油売り 人の前では  
 さも真面目。  
 油びん 上戸はいつも  
 酒に見え。  
 スタンド 醸油売り売り  
 ほめられる。

「民主主義」  
 民主主義 ため息を  
 つく孝の額。  
 民主主義 六十の母  
 ぐちしきり。  
 民主主義 口だけ大きい  
 子が生れ。  
 民主主義 明治の軸は  
 あくびする。



飼料の確保が成否を左右する

# 畜産成功の

## カンドコロ

菅野 祐一

元来、農家は家畜を導入することに急なあまり飼料のことは、後まわしにする傾向があるように思われます。

そして高い濃厚飼料を購入し、割高な費用をかけている(畜産物(乳肉毛)を作り出しています)。

畜産物の値段が高い場合は、それでも引き合おうでしょうが、いったんその価格がくずれると収支のバランスを失つて、せつかく手に入れた大切な家畜を手放す破目に陥りがちです。

それでは何時までたつても、安定した経営を営む事は出来ないでしょう。

今後の畜産は、共同飼育化又は多頭飼育の方向に進むことが予測され、それに伴って飼料の需用はますます増大する事になります。飼料確保の上、下手が事業の成否を左右する大きな「きめ手」となります。

とりわけ飼料を最も多量に必要とする酪農を始めの場合には、安い自給飼料を確保する用途をたて、出発することが最も肝要と思えます。

「なぜ飼料作物を作らな

ければならないか。」飼料の面から見た今迄の畜産は「藁と濃厚飼料の畜産」でした。

産物として、簡易安価に手に入るわけですが、その低い栄養分を補うために濃厚飼料を購入し、却って高い飼料費につくばかりでなく、家畜の健康を害ね、不妊その他の病気を起こしてしまい結局はもうからない落農となつた例は少なくありません。

そこで今後の飼料対策は藁の使用を出来るだけ減らすという基本線に添う

### 厚生

#### 栄養と病気

私達の体は栄養で維持され栄養が欠乏すると病気になる。病気がなつたら充分なる栄養を補給しなければならぬ。

栄養の中、蛋白質は血や肉となり糖質と脂肪は体温や活動するエネルギー源となる。

無機質は体の構成発育の素であり、ビタミンは体

て考えなければなりません。

そのためには野草地(牧野、畦畔、堤塘)の手入や、農場副産物の利用をたかめるとともに飼料作物を拡大する必要があります。

しかしそれらのものにも地域的に又時期的に自らの限度があります。

家畜の頭数がふえ、あるいは能力の高い乳牛になるとそれだけではやはり不足することになります。

そこで飼料作物栽培の必要性が起つて参ります。

しかし又ここで別な問題が出てまいります。

それは云う迄もなく飼料作物を栽培してはたして有利かどうかと云う事です。

しかし、この事については、紙面の都合上省略しますが、飼料作物は採算性の高い作物であるとして申ししておきましょう。

耐久力が少ないので病気に負けて治りが遅い、蛋白質、糖質、無機質、ビタミン等栄養素の含まれた食物を適当に配合した料理を常に工夫し栄養不足にならない様にとめましよう。

栄養は量を多くとるだけでは駄目なのです。食物としてとつた栄養素が完全に消化吸収されて初めて効果があるのです。栄養をとるには胃腸や歯が丈夫でなければならぬ。病気の予防にも治療にも栄養を欠かさない様に注意が必要ですよ。

次の頃は三色栄養の頃です。昔唄つたお山の杉の子の節で歌つて下さい、健康で明るい家庭であるために。

一雨にも負けず風に耐え伸びるお山の杉のよに丈夫な体作するため、三色運動起しましょう

二大豆の一族先頭に魚、肉、牛乳と、血も同じ仲間たち、血や肉となる赤の色、赤の色。

三働く力のもととなる、米麦うどんにパンと芋忘れちゃならぬ油の黄色いカローリ増すは黄色です、黄色です。

四色あざやかに新しい野菜、菓物、海藻は、体の調子と、のえる、ビタミン含む青の色、青の色。

五黄色、青、赤、三色を532の割合で、作る栄養献立は、健康一家の基となる、基となる。

### 母子手帳について

妊婦さんにお願ひ  
母子手帳とはその名の通り母と子の健康の記録です、妊娠とわかつたら必ず母子手帳を受けて下さい、妊娠しているときはお母さんになる人のための記録です、これは医師又は助産婦さんの診察を受けたときの状況を記入していただく事、赤ちゃんが生まれてからは子供注射等赤ちゃんに必要な記録です。母子手帳は妊娠とわかつたら医師又は助産婦さんの証明書を提出して下さい、早く届出が出来ます。二回、三回となると生み月に戻つたり生れてからの届出が非常に多いのです。

この前と変りないとか忙しくてとか理由はいろいろあるでしょうが自分の健康に自信がありすぎて失敗する事が多いのです。妊娠しているのだから誰れも足のむくみはある位に考えず必ず、医師の診察を受けるようにして下さい。妊娠と気付いたら本人は勿論家族の方々もぜひ丈夫な可愛いお孫さん(我が家の宝)のため

## 37年度 青少年海外派遣員募集

このことについて中央青少年問題協議会においてその実施が決定され県において下記要項により募集することになった。

一趣旨、次代になつて青年に広く海外の実情を視察せしめ青年の国際親善の目的。

二派遣の目的、訪問国の産業、経済、文化の実情を視察研究するとともに各国の青年と直接交歓を行ない国際親善を図る。

三派遣計画

1 派遣地区及び派遣人員

Aヨーロッパ地域  
Bアメリカ地域  
C東南アジア地域  
D中南米地域

2 派遣予定期間

A地域 八月  
B地域 九月  
C地域 七月、十月  
D地域 九月

派遣予定期間 約三ヶ月

A地域 約三ヶ月  
B地域 約三ヶ月

●相談日 毎月、10、20、30日。

●保健相談室

(当日、日曜、祭日のときは翌日)

●場所 公民館

に妊婦さんに充分な栄養と休養、睡眠を充分に取る様に、妊娠中の栄養の取り方に、妊娠中の赤ちゃんと母の健康が左右されるばかりでなく頭の悪いのも悪いにも関係があるのです。

母子手帳を受けたら何度

も読んで下さい、大切な事が書いてあるのです。母子手帳を受けに来る時にはぜひ本人がお出になつて一言保健婦にも連絡して下さい。保健婦は妊婦の健康相談も受けております。



「町内学校発達史」

大和久学校

坂上高助稿

明治5年に学制が發布されてから、学問の重要な事を知って、青少年の教育について部落民の間に学校建設についても論議されたが当時の財政ではなかく、困難で出来ずうもない。

婦人会

大野婦人会の 新役員

3月24日、公民館で総会を開き、投票の結果会長に河西カツ、副会長に木幡と、渡部あきさん

熊町婦人会新役員 3月31日 熊町中学校 講堂で総会を開いた結果 次の通り決定した、

熊町婦人会 37年度目標及 事業計画 目 標

自分ので自分をよくし、よい人になろう。相手の気持ちになって考

青年学級開設公示 大熊町教育委員会 次、昭和37年度青年学級を開設する。

研修内容 (1)一般婦人学級 地域社会の民主化。家庭の民主化。生活の合理化

婦人学級生募集 大熊町教育委員会 次、昭和37年度青年学級を開設する。

開設場所—大熊町公民館 4 開設場所—大熊町公民館

3 青年学級 家庭での人間関係、生活の合理化。基礎的教養の向上等を多く望んでいる

5 学習内容—農業経営家 政、教養 6 学習時間—二五九分

私のお願い 持田虎之助 一年の計をたてるものは種子を播くべし十年の計をたてるものは山に木を植へべし百年の計をたてるものは人を教育すべしと古人も言っています

3 青年学級 家庭での人間関係、生活の合理化。基礎的教養の向上等を多く望んでいる

3 青年学級 家庭での人間関係、生活の合理化。基礎的教養の向上等を多く望んでいる

また教育の機会が均等であるというものが叫ばれてから何十年になるかと思

時代は時々刻々に進んで近き将来に月に逆行けると言われている時に高等

これは教育が如何に大切であるかを物語っています